



「安心」して暮らせる「安全」な愛知に向けて

地域安全対策ニュース

NO. 42

令和7年10月20日

愛知県警察本部
生活安全総務課



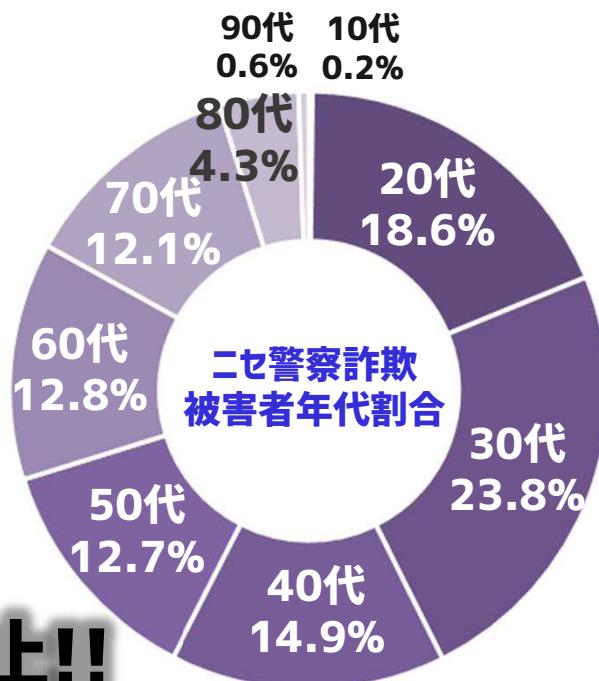
R7.9未現在

特殊詐欺被害額
約60億円

その内↓

ニセ警察詐欺被害額
約37億円

全世代必須トレーニング!!
いますぐ手口を知って被害防止!!



講話メモ

Vol. 2

【特殊詐欺～ニセ警察詐欺の手口】

地域安全対策ニュース令和7年No.42 参照

おはようございます。

愛知県警察から県内で多発する特殊詐欺について情報共有がありました。

このお話は、皆さん自身が被害に遭わないことはもちろん、家族や友人に広めていただき、身近な人を悲しい被害に遭わせないようにしてもらうためのお話でもあります。

特殊詐欺の中でも、ニュースや新聞に取り上げられることが多い「ニセ警察詐欺」について詳しくお話しします。

この詐欺の特徴は、とにかく本物の警察と見分けがつきづらく、信じこまされてしまうところがポイントです。

さんは絶対にだまされないでください。

それでは、この手口についてですが、「ニセ警察詐欺」だから「警察」から電話がかかってくるとは限りません。

詐欺の始まりの電話は、携帯電話会社だったり、郵便局だったり、カード会社だったり、いろいろです。

「携帯電話の未納料金がある、まもなく通信をとめる」

「あなたが契約した携帯電話から迷惑メールが送られている」

「あなたが送った荷物に、不正なものが入っていた」

「あなたのカードに不正利用がある」

難癖をつけ、あなたが犯罪に巻き込まれているようなことを告げ、ニセ警察官へと電話を繋ぐのが犯人の語り口です。

ニセ警察官は、

「あなたに犯罪の容疑がかかっている」

「LINEで取り調べをする」

などとビデオ通話に応じるように誘導します。

ビデオ通話の中では、警察官が制服姿で、警察手帳や逮捕状を提示するなどして、本物の警察官だと信じ込ませてきます。

そして、ニセ警察官は、

「無罪を証明するためにあなたの預金を調査する」

「今から言う口座に現金を振り込んでください」

「容疑が解消されれば、返金する」

「守秘義務があるので、家族や私以外の警察官であっても話してはいけない」など、現金を求めてくるようになり、その話を信じてしまった人は、

「なんとかして無罪を証明したい」
「返してもらえるなら振り込んでも問題ない」
という思いから、誰にも相談できないまま、現金を振り込んでしまいます。
そして、全財産がなくなった後も、消費者金融での借金を指示されるなど、被害者が詐欺に気付くまで、お金を要求されるため、被害額は大きくなります。

特殊詐欺の電話は、「高齢者」の家の「固定電話」に架かるというイメージがあるかもしれません、この「ニセ警察詐欺」の被害者は「20代から50代」が多くを占めています。さらに、そのほとんどが「携帯電話」に架かるなど、全世代の人が詐欺グループから狙われています。

手口は少しずつ変わるかもしれません、注意してもらいたいポイントは3つ！

- ・LINEなどSNSでの「ビデオ通話」に誘導
- ・「ビデオ通話」で警察手帳や逮捕状を提示
- ・調査のために現金振込を要求

これらが詐欺のキーワードです。

相手が警察官を名乗っても、まずは疑ってください。

本物の警察だとしても、一度電話を切り、最寄りの警察署へ電話をかけ直して確認してください。

そして、詐欺対策アプリを導入するなど「犯人と話さない対策」が有効です。

愛知県警察ホームページに、「ニセ警察詐欺」の実態を簡単に知ることができる「防犯トレーニング」がアップされています。

いつでも何度でも無料でできる「防犯トレーニング」はスマートフォンでもパソコンでも簡単にアクセスすることができます。

休憩時間にちょっと試してみませんか？

最後に、特殊詐欺の被害は、家族の財産が失われ、家族関係にも大きな影響を及ぼし、家族が不幸になります。

皆さん自身や大切な家族を守るためにも、詐欺と見抜くキーワードをしっかり覚えておいてください。